



～農業振興を通じて地域社会へ貢献～



JAきたそらちでは、
ホームページとFacebookで、
魅力満載の情報を発信中です！
ぜひ、ご覧ください！

ホームページ



Facebookもチェック



目次

- 新年のご挨拶 2, 3
- 祝 JAきたそらち最高金賞受賞
～「ゆめぴりかコンテスト2021」全道コンテスト～ 6
- 金融共済イチャン本所オープン 13
- 今月号の表紙 18



新年のご挨拶

きたそらち農業協同組合

代表理事組合長

柏 木 孝 文

新年、あけましておめでとうございます。

組合員の皆様に於かれましては、コロナ禍の中、日常生活にも制約が多く大変厳しい環境と推察されますが、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎える事と心よりお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、一昨年に続き新型コロナウイルスの猛威に晒され、蔓延防止対策・緊急事態宣言により、各種イベントの中止や自粛が相次ぎ、中食・外食の需要減少の影響が大きく、各農作物共に需給緩和の傾向が強くなっております。自粛が生活サイクルに染み付き、一程度の経

済の回復は見ておりますが、人間も経済も疲弊していることは、間違いないところです。一層の経済の回復とコロナウイルスの一刻も早い終息を願うばかりです。

ワクチン接種も順調に進み、昨年末より、拡大は抑えられている状況ではあります。予断を許さない状況に変わりはなく、特効薬・飲み薬の一刻も早い開発と認証に期待しながら、感染防止対策万全の中、前を向き進んで行かなければならないと思っています。

さて、当農協管内の農作物の作柄ですが、春先の高温により、融雪も早く進み、農作業の進捗も

前倒し傾向が続ぎ、台風の上陸も無く、基幹作物の水稲に於いては、豊稔の秋を迎える事が出来ました。しかし、6月上旬からの2か月間殆ど雨らしい雨が降らず、畑作物に於いては、かつて経験のしたことの無いような干ばつの被害を受けてしまいました。

水稲は例年より早い融雪により、常に早い作業となり播種・移植作業も順調に進みました。若干の低温・寡照の時期はありましたが、6月上旬以降の高温、多照により、初期生育も旺盛で、平年を大きく上回る茎数を確保することが出来、高めの気温により積算温度も

確保し、平年値を上回る千粒重と相まって、北空知の作況指数は「108」となりました。部分的には茎数過多により「しらた」「青未熟」が発生し、出穂期の異常高温による、圃場での胴割れもあり、手放しで喜べる状況ではありませんでした

が、収量・タンパク値共に一昨年を上回り、基準値内の米が多く素晴らしい成績を収める事が出来ました。それに加え、ブランド品目である、「ゆめぴりか」については、空知管内のコンテストでのグランプリに続き「全道ゆめぴりかコンテスト2021」において最高金賞に輝き、全道各地に

改めてきたそらち農協が米においてのNo.1農協である事を知らしめる事が出来たことは、喜びに堪えないところです。

畑作物については、水稻同様早めの融雪により、作業は順調に進みましたが、6月以降の少雨により、生育が心配される状況でした。秋小麦については、出穂期以降の雨不足により細麦傾向が顕著でしたが、茎数の多さにも助けられ、施設能力をフルに発揮し、全量1等麦に調製することが出来ました。豆類については発芽不良・生育不良に見舞われ、地域差もありますが近年に無い小粒傾向で、収穫期後半の長

雨とも相まって汚粒も多発し、調製には大変苦慮した年となり、収量においても残念な年となつてしまいました。そばについても、干ばつの影響で発芽不良による蒔き直し、お盆頃からの降雨による二次成長に期待し、例年よりも遅く収穫作業を行うなどの対策も取られましたが、極端な低収量の組合員もみられ、価格の回復もままならない中で厳しい一年となりました。

青果・花きについても、極端な高温により、作業が前倒しとなったことで、収穫期が全道的にバツティングするなど、価格の維持と販売には苦慮した一年となりましたが、一年を通しては、例年規模の販売額を維持し、ほぼ計画を達成することが出来ました。

畜産については、肥育・素牛共にコロナ禍、外国人の入国制限により、インバウンド需要が無くな

り、家庭内での消費こそ若干伸びましたが、価格の乱高下が激しく影響は大きなものとなりました。

組合員の皆様には、コロナ禍、高温に伴う干ばつ等、異常とも思える生産環境下に於かれましても基本技術の励行により、多くの農産物の出荷を頂きました事に心よりお礼を申し上げます。

さて、通商交渉に目を向けますと、諸外国との貿易交渉により、我が国の貿易自由化率は世界でもトップクラスであり、本年には「RCEP」も発効され益々、貿易の自由化は進みます。年々食料自給率が下がる我が国が推し進める政策とは到底思えず、国内農業を軽んじているのは明らかです。我々が求めている様々な担い手が地域の生産基盤を維持できる政策を今後も北農5連と連携をしながらJAGグループ北海道として強く要請し

て行かなければならないと感じています。

一方、国内では、4年連続で生産の目安に沿った生産とはなっておりませんが、作況指数「100」の平年並みとなり、コロナ禍により産地での在庫が膨れ上がり米価に跳ね返ってきているのが現状で、本年度以降の生産意欲への影響も懸念されています。それにも増して、産地交付金である、水田活用交付金の要件見直しの論議、本年度の水稲作付面積への影響等、水稲を基幹作物とする農協にとっては、大きな過渡期を迎えようとしております。長期的な目線に立ち需要量・生産量の展望を持った米政策を要望していく事と合わせ、持続可能な農業に向けた政策を求めて行かなければならないと考えます。

「日本一の米産地」を実現することを目標とし打ち出した、第7次農業振興計画・農協経営計画

も2年目となっておりま

す。コロナ禍により、主食用面積の縮小や取り組み等も見直して行かなければならない状況となっておりますが、全道一の生産量と集荷量を誇る責任産地として、常に農業所得の増大と、担い手の確保・育成に取り組み、協同組合の理念の元、結束力の強化に取り組んで行かなければならないと考えます。職員が節目毎に組合員や青年部員、新規就農者のお宅を訪問させて頂き、様々な情報や、JA事業を紹介しながら、密着力を強化し、経営支援を行い、問題解決に取り組んで行きたいと思

います。又、本所機能を営農センターに集約する為に進めていた営農センターの増築工事も完了し、既設棟の改修も進んでいます。本年4月から、本格的な営農と金融のワ

ンストップ対応に向け、準備を整えております。部署間の繋がりを強化

し、組合員対応に万全を尽くして行きたいと思

います。結びとなりますが、まだまだ、先の見えない新型コロナウイルスとの闘いとなりそうですが、系統への結束力を高め経営の安定を図る事が、地域社会を支える農業・農協としての使命です。

組合員の皆様を生涯に渡ってサポートし、「農業振興を通じて地域社会に貢献」して行くことを存在意義とし、地域にとつてなくてはならない存在と思つて頂ける様、本年一年も邁進していく所存です。

本年も天候に恵まれ、稔り多き年に成ると共に、組合員の皆様とご家族にとつてご健康で幸多き年に成ります事をご祈念させて頂き、新年のご挨拶とさせて頂きます。



令和4年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長

小野寺 俊 幸

新年あけましておめで
とうございます。

組合員並びに役職員の
皆様には、コロナ禍にあ
ってもその苦境にも負け
ず、日々営農に更に邁進
されておられることと存
じます。

また、地域農業の振興
や地域社会の発展に向
け、日頃より多大なご尽
力をされていることに對
しても、改めて敬意と感
謝を申し上げる次第であ
ります。

昨年の北海道農業につき
ましては、春先は天候に

恵まれ順調に推移したも
の、7月～8月にか
けの長期間の猛暑や少雨
による干ばつ、また、9

月に発生した雹や大雨に
より、一部の地域や作物
によっては、生育が大変、
心配されたものの、お
おねね平年作を確保するこ
とができました。

しかしながら、一昨年
から引き続き、新型コロナ
ウイルスとの戦いが長
期化し、今までの日常と
は大きく変化した1年で
ありました。農業分野に
おいても例外ではなく各
種イベントの自粛、外食

の需要減少等の影響によ
り、各作物の消費に大き
な影響が出ています。

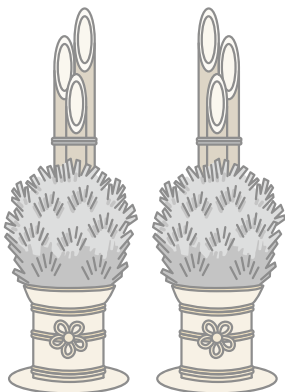
今後は作物ごとの実態
を踏まえた、国産・道産
農畜産物の需要喚起・消
費拡大を図るとともに、
外国人技能実習生の入国
にも影響があり、農作業
の人材確保にも大きな課
題となっておりま
す。す。
で、北海道、全国連とも
連携し、J Aグループ北
海道としてしっかりとそ
の対応を図ってまいりま
す。

昨年は第30回のJ A北

海道大会を開催し、「北
海道550万人と共に創
る『力強い農業』と『豊
かな魅力ある地域社会』
の達成」という将来ビジ
ョンが決議されました。

コロナ禍やデジタル化
への対応、SDGsへの
貢献、信用・共済事業を
はじめとしたJ A経営を
取り巻く事業環境への対
応など、北海道農業、J
Aグループ北海道を取り
巻く環境が急激に変化し
ており、このような環境
に適応していくには、改
めて、協同組合運動の原
点である「対話」を通じ
て、実践方策を設定し、
実践と改善をくり返すこ
とで、変化の波をJ A運
営に取り込んでいくこと
が必要であり、組合員・
役職員が一丸となつてし
っかりと取り組んでいく
ことが重要となります。

結びになりますが、本
年は壬寅年です。十干の
「壬」は陽気を下に宿す
という意味を持つてお
り、生命の誕生を宿す意
味を表します。一方、十
二支の「寅」にも壬と同
様で、草花が伸びようと
する状態を表していま
す。この謂われにあやか
り、本年が豊穰の年とな
ること、新型コロナウイ
ルスの1日も早い終息と
皆様のご健勝をご祈念申
し上げ、年頭のご挨拶と
いたします。





年頭のご挨拶

J Aきたそらち青年部

部長 西田 展好

新年あけましておめでとうございます。

日頃より当青年部に対し、各関係団体並びに組合員の皆様には特段のご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様へお見舞い申し上げますとともに、医療関係者の皆様へ感謝の意を表します。

昨年の営農を振り返りますと、昨年度の天候は高温、干ばつにより一部の農産物に被害はありましたが、大きな自然災害も無く概ね天候に恵まれました。基幹作物である水

稲は高温による胴割れ粒がやや多めとなりましたが、タンパク値は低めで登熟も良好に推移し、平年よりも一週間ほど早く収穫をむかえ、北空知地域の作況指数は「108」

と豊作を示す値となりました。

しかし、新型コロナウイルスは現在も落ち着くことはなく世界的に猛威を振るい続け、外食業界における影響が長期化し、米の需要が減少。それに伴い米概算金も大幅に下落するなど地域農業に大きな影響を及ぼしました。このような情勢下であっても私たち青年部員は一人ひとりが地域の担い手であることを自覚し、仲間作り、自然災害、異常気象や予想のつかない農業情勢にも負けずJ A運動の先頭に立ち、日本農業を発展させていかなければならないと思うところです。

青年部活動につきまは、

一部の活動は中止せざるを得ませんでした。が、感染症対策を講じながら活動を行っていました。2月にはスノーメッセージを営農センターに作成しました。大ヒット漫画『鬼滅の刃』から引用した『全集中』に日々の営農や青年部活動への姿勢を表しました。また、8月には管内の道の駅にて白米無料配布イベントを計画しておりましたが、緊急事態宣言発出に伴いイベントを中止致しました。しかし、管内道の駅のご協力により青年部にて作成したファームレターを付けたJ Aきたそらち産の米を各道の駅内に置かせていただき消費者へPRしました。さらに、10月にはくるる

の杜にてJ Aきたそらち農畜産物フェアを開催しました。一昨年同様「新北海道スタイル」に準じた感染症対策を講じながら販売を行いました。当日は天候が優れない中、新米をはじめ、野菜・深川産牛・幌加内そばを消費者へPRすることができ充実したものでした。

今なお収束の見通しがつかない新型コロナウイルスですが、青年部が「丸」になってこの逆風を乗り越えていきたいと思っています。

今年一年間、各関係団体並びに組合員の皆様からの、一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶と致します。



年頭のご挨拶

J Aきたそらち女性部

部長 三谷 好美

新年あけましておめでとうございます。

日頃よりJ A女性部活動に対し、組合員の皆様並びに各関係機関の皆様にはご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は、一昨年より世界中を震撼させた新型コロナウイルスが瞬く間に広がり、世界的大流行を引き起こしました。

日常生活での感染への恐怖、緊急事態宣言の発出による飲食店等への休業要請などの影響により我々が生産する農作物の消費動向に大きな影響を及ぼし、昨年も新型コロナウイルスに振り回された一年でした。

また、天候では三十度越えの暑い日が続き、我々農業者の身体への負担と追い打ちをかけるように降雨に

も恵まれず、農畜産物は干ばつによる収量への影響を受けた一年でもありました。

コロナ禍における女性部活動は、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言期間においては行事の中止や延期せざるを得ないこともありましたが、一方でインターネットを活用したオンライン研修、人数を制限しての行事開催など、全てを中止するのではなく今できる形を模索しながら活動を行ってまいりました。

そのような状況ではありましたが、「新本所」となる営農センター増築の竣工に華を添えるため女性部員で「ステンドグラス」を制作し

寄贈させていただくこととなりました。部員減少が続く女性部ではありますが、部員が団結し一つの作品を作り上げるとても良い機会だったと感じております。

昨年11月に開催された第30回J A北海道大会においてJ A運営への参画目標の中に「女性正組合員比率30%以上」「女性総代比率15%以上」「女性理事等比率15%以上」と示されました。

昨年女性部は、青年部と共にJ A常勤役員との懇談会を行いました。若い農業者も女性農業者も共に、この地域の農業をより良いものにして、うと活発な意見が出されとても有意義な時間でした。

営農において女性の力が必要とされていることは皆さんが理解しているところだと思えます。それを誰が見ても女性の力が活かされていると分かる形にしていきたいことが求められており、今までのやり方を見つめ直す転機を迎えています。

我々はその転機を受け入れることで新たなステージに立てるのではないかと感じております。

農業に携わる者全てが手を取り合い、この地域の農業を守ってまいりましょう。

今年は豊かな稔りを素直に喜びあえる一年になりますようご祈念申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。

祝 JAきたそらち 最高金賞受賞 『ゆめぴりかコンテスト2021』全道コンテスト

先月号にて紹介された第6回空知地区ゆめぴりかコンテストに続き、11月22日札幌市で北海道米の新たなブランド形成協議会と北海道米販売拡大委員会が主催する「ゆめぴりかコンテスト2021」の全道コンテストが開催された。

全道コンテストには全道7地区で金賞を受賞した「ゆめぴりか」が出品され、空知地区の代表として出品された当JAの「ゆめぴりか」が最高金賞を受賞した。審査は、産地を伏せた状態で、北海道大学食品加工工学研究室の川村周三審査委員長を始め7人の審査員が試食し、最高金賞が選ばれた。

JAきたそらち「ゆめぴりか」生産組合の岡田徹組合長は「本当に嬉しい。生産者皆さんの努力が報われました。これからも美味しい「ゆめぴりか」をみんなで作っていきます」と話された。

また「最高金賞ゆめぴりか」は、12月初旬から道内のスーパーで販売されている。



JAきたそらち営農センター増築工事 竣工式を開催

12月4日、営農センターの西側に新設された会議室で『JAきたそらち営農センター増築工事竣工式』を開催した。

現在、JAきたそらち本所の事務所（深川市北光町）として使用されている建物の老朽化が進んでいる事、またJAの本所機能を営農センターに集約し営農相談・経営相談の、ワンストップ・トータルサポートを行うため、増築工事が5月より進められ12月3日に工事が完了した。

工事は現営農センターの西側に636・4㎡の会議室等が増築され、来年4月から、総務・融資・渉外・共済部門が営農センターに移転する。

竣工式には、来賓、設計管理業者、施工業者など、約50名の参列を頂き、施主であるJAきたそらち柏木孝文組合長は、「現本所建物の老朽化に伴い本所機能を一本化するため増築工事が進められてきた。今回完成した素晴らしい施設を活用し、組合員との密着力を強め、地域の活性化に繋げたい。組合員や皆様のお力添えを頂きながら今後も良い農畜産物を届けることが生産者・JAの使命であり、新本所を中心に事業を進めて参りたい」と述べた。

また、現在の本所建物は令和4年夏ごろ解体予定となっており、金融共済店舗については現在の本所に隣接するホクレンショップイチャン店内に移設され12月6日より新店舗での営業が開始されている。





「JAきたそらち地域農業応援団」 第5回応援団会議・解散式

12月15日、准組合員を対象にした交流活動「JAきたそらち地域農業応援団」の第5回応援団会議と解散式が当JA営農センターで行われた。今回は団員13名が出席し、これまでの同会議の活動報告やJA役職員との意見交換会、感謝状の贈呈などが行われた。

開会にあたり、岩田清正専務は「地域農業応援団の皆様には地元の農業・JAの事業など、色々なことを学んで頂いた。また、活動を通して「農業やJAに対する理解が深まった」「今後も地域農業応援団の活動を続けて欲しい」など心温まるお言葉を頂いた。皆様にはこれからも地域農業の応援をして頂きたい」と挨拶した。続いて、JA北海道中央会岩見沢支所の遠藤俊氏がJAグループ北海道の概要として連合会それぞれの役割や同グループの使命などを説明し、次にJAきたそらち遠藤康博総務部長が第4回までの活動内容や、団員からの感想等を報告した。

意見交換会では「地域貢献のためにJAきそちが取り組むべき方向性」をテーマに、団員とJA役職員が4班に分かれグループ討議を行い、「子ども達や地域住民が気軽に参加できるJA施設見学会などを開いてみては」「電話やインターネットなどを活用し、道の駅やホクレンショップ以外でも地元の農畜産物を買えるようにしてほしい」「地元深川で素晴らしい農畜産物が生産されていること、またそれに係る施設があることをもっと積極的にアピールして欲しい」などといった意見が出された。

その後、岩田専務より団員それぞれに1年間の活動をねぎらい感謝状が手渡され、最後に今年度の団員の推薦により決められた次年度の応援団員19名の紹介が行われた。

参加した団員は、「普段見ることの出来ない施設を見学することが出来て良かった」「農福連携を青果・花き施設で目にする事が出来てとても感動した」「地域農業応援団の取組みをもっと沢山のの人に経験させてあげたい」などと感想を話す。

次年度も新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら、4月より計5回の活動を行う予定となっている。



深川市内飲食店買い物利用キャンペーン

新型コロナウイルスの影響でダメージを受けている経済活動の回復を目的として、深川市、深川商工会議所、深川市商店街振興組合連合会が市内での飲食・買い物促すキャンペーンを実施し、11月26日山下貴史深川市長と深川商工会議所富岡正幸会頭が当JAを訪れキャンペーンへの協力を依頼した。

山下市長は「新型コロナウイルスに関する感染防止等にも気を付けて頂きながら、地域経済のためにも地元深川のお店での飲食・買い物にご協力頂きたい。JAきたそらちの職員の皆様にもお願いしたい」と話された。

続いて柏木組合長は「新型コロナウイルスについては、北海道の基準に則った感染防止対策を実施し、今後也十分に気を付けていきたい。市内での飲食・買い物については職員にも伝えさせて頂き協力したい」と話された。

また、深川市・深川商工会議所から全職員分の深川での飲食・買い物促すメッセージ付きのティッシュと除菌ウェットティッシュを贈呈頂いた。



JA YOUTH 青年部だより

北ブロック青年部と
拓殖大学北海道短期大学との

意見交換会

11月15日、拓殖大学北海道短期大学にてJA空知青年部連合会北ブロックと同大学との意見交換会が開催され、JA北ブロック青年部員13名と同大学 環境農学コース学生50名・国際学部農業総合コース学生15名が参加した。

開会にあたりJA空知青年部連合会北ブロック 石井裕士代表理事（JA北いぶき秩父別支部）より農協青年部組織についての説明や青年部活動の紹介が行われた。

その後、「地域農業の現状と将来目標達成に向けて〜いつ、なにを、どうやって〜」をテーマに5班による意見交換が行われ、それぞれの班で青年部員の就農からの実体験や心境の変化を基に学生の農業に対する思い、農業の可能性について意見交換が行われた。

学生たちは「青年部の活動を詳しく知ることができて良かった」、「実際に就農している青年部の方から直接、体験談や苦労・工夫した点などについて聞けたため有意義な時間であった」など感想を述べた。

【営農企画課 石野】





新風



農家後継者



氏名 柏木 洋輔 さん
かしわぎ ようすけ

年齢 30歳

就農年 令和2年4月

地区 深川支所 メム地区

経営面積 24ha (水稲、小麦、大豆)

☆目指す農業

就農する以前は、旭川市で保育の仕事に携わっていました。幼い頃から身近にあった農業ですが、慣れない作業や耳慣れない言葉等、仕事として取り組む難しさを日々感じています。

具体的な目標はまだ見えませんが、まずは一つひとつ知識や技術を身につけて参りたいと思います。

皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

【新規就農希望者受入農家・新規就農希望者募集】

JAきたそらちでは、JAホームページ・新農業人フェア等で新規就農者の募集をしております。新規就農希望者を受入れていただける生産者を募集しておりますので、人材確保に不安をお抱えの方はお気軽にご相談ください。

また、新たに従業員を確保される予定がある方へ、活用可能な事業をご紹介しますので、合わせてお問い合わせください。

- ◇ 問い合わせ先：農業振興部 営農企画課【TEL：0164-26-0134】
- ◇ ホームページ：<http://www.ja-kitasorachi.com/farmer/index.html>

農業振興部

深川市新規就農等受入協議会 内部研修会・第2回全体会議 開催

11月24日、深川市新規就農等受入協議会（佐々木伸介会長）の内部研修会及び第2回全体会議が開催され、同協議会の会員や、深川市農政課・当JA職員など計20名が参加した。

内部研修会では、遠軽町農業担い手対策協議会（石丸博雄会長）を講師に迎え、新規就農に関する先進的な取り組みや新規就農者サポート事例等を学んだ。開会にあたり佐々木会長は、「先進的な取り組みをされている遠軽町農業担い手対策協議会様の運営や実績等をお聞かせいただき、当協議会の今後の運営の参考にしたい」と挨拶した。

遠軽町農業担い手対策協議会の井上宏之事務局長より、協議会の設立目的や事業展開等の概要や、研修初年度に研修生へ経営移譲を行う予定の受入農家を含む地区内の農家数戸でサポートチームを結成して研修生が同チーム内を順番に周って研修するといった先進的な取り組みなどについて説明を受けた。井上事務局長は、「新規就農者の確保は比較的難しくなく、一番の問題は経営を譲り渡す側の心構えと譲り渡せる農場であるかどうか」と今後の課題などについても話した。

その後、遠軽町農業担い手対策協議会の取り組みに対して活発な質疑応答が行われ、深川市新規就農等受入協議会からは、就農希望者とのマッチング方法や経営を譲る側としての具体的な心構えや手段などについて質問が出された。

第1回全体会議では、新規就農希望者に係る経過報告や、JAきたそらち雇用就農フェア（仮称）の開催、新規就農研修手当などについて協議された。

【営農企画課 白川】





JAきたそらち女性部

支部長研修

JAきたそらち女性部

副部長

花岡 美智子（幌加内支部）

11月16日から18日にかけて宮城・岩手県方面へ二泊三日でJAきたそらち女性部支部長研修を行いました。今回は三谷部長が急遽参加出来なくなり、代理で音江支部 斉藤副支部長に参加していただき合わせて8名の女性部役員で参加致しました。

1日目の出発は早朝5時。心配していた雪はチラついていましたが路面凍結もなく、明かりのついている営農センターに到着したときはホッとしました。早朝でしたが皆元気にバスに乗り込み出発！

午前9時に仙台空港到着。仙台の天気は快晴！バスガイドさんに迎えていただき、仙台空港の津波到達水位の説明を受け、到着開始から東日本大震災の恐ろしさを感じました。

最初の視察研修先であるJA仙台。「農産物直売所たなばたけ高砂店」では開店前の店先は、開店準備や客が並び賑やかでした。職員の方から店名の由来、震災前から着工していた直売所が震災の影響を受け、生産者の中に被災されている方もおり一時はオープンを見合わせていましたが地域住民のために開店したこと、仙台伝統野菜などを説明していただきました。

その後、隣接の施設「ベジキッチン」においてJA仙台女性部と料理交流会を行いました。部員の方の「スコップ三味線」で賑やかに歓迎していただき、料理交流会の開催です。仙台伝統野菜の「曲がりねぎ」と豚バラスライスを使った料理をデモンストレーションしていただき、事前に女性部の方々が準備してくれた牛タン、笹かまぼこ、ずんだ餅、郷土料理を詰め込んだ手作りお弁当、里芋がごろごろ入った豚汁をいただきながら情報交換をしました。料理交流ということで調理方法や栽培方法なども伺う

ことができ、今後も何らかの形で交流が出来ると思います。

2日目は、東日本大震災から10年経過し、防潮堤も兼ねて嵩上げされた高速道路、街全体嵩上げにより出来上がった地域など車窓から見ながら視察研修先の「農事組合法人 新浜協業組合」へ向かいました。海に近いその法人は津波により全てを流されたそうです。7名で水稻77haを営農しており代表の平山 尚氏は80歳を超える高齢。震災当時の津波の様子、2年間の瓦礫除去、除塩、除草、3年目に10a作付したが品質が悪かったことなど伺いました。育苗ハウスや施設も見学し、年中ビニールが掛けっぱなしのハウスでは、育苗後に野菜を栽培したが採算が合わず現在は除草シートが掛けられています。ハウスが空いている状態を見て「勿体ない」「何か作りたい」とみんなが思っていました。太平洋沿岸の気候で雪がほとんど降らないと聞くと津波さえなければ…と心から感じました。

その後、南三陸町に移動し、「南三陸震災復興研修」です。自身も被災者である語り部さんが私達のバスに乗り、津波で浸水した地区、避難場所などを巡りながら当時の様子を昨日のことのように語ってくれました。それを聞きながら涙を流された方もいました。





女性部 だより

住み慣れた海の見える町が10数メートルの防潮堤に囲まれ、防災無線で町民に避難を呼びかけ続け犠牲となった方がいた3階建ての旧防災対策庁舎を残し震災復興記念公園になり、すっかり様変わりしてしまつたことに切なくなりました。語り部さんはご主人や身近な人達を津波で亡くし、なかなか立ち直れなかつたこと、被災当時の様子を声を詰まらせながら語っていたとき、10年経過して物資の復興は進んでも亡くなった命、心の復興は難しいと改めて感じました。

最終日は、岩手県陸前高田市「東日本大震災津波伝承館」、宮城県気仙沼市「東日本大震災遺構・伝承館」に行き、それぞれの地域の被害状況等をビデオ視聴や被災展示物を視察しました。気仙沼の伝承館は気仙沼向洋高校旧校舎と併設しており4階まで津波が来て壁が崩れ、沢山の瓦礫や3階の教室に流された車などを遺構として残しており、学校にいた生徒達は全員屋上に避難し無事でしたが、遺構を見学するとどんなに恐ろしかったことが想像するに耐えられないことで、今後このような事が起こらないことを祈るばかりでした。

この二泊三日は様々な場所東日本大震災を知る研修でした。被災地を見たり、当時の様子を聞いたり、被災者の思いを学ぶことができ有意義な3日間でした。

震災から10年、まだまだ復興途中の地域もあり風景は変化していくでしょう。また機会があれば被災地を巡りたいと思います。私達が震災の恐ろしさを忘れないために。

この度の研修では、コロナ禍で行事が少ない中、支部長間の親睦も深まり楽しい思い出になりました。視察させていただいた受入れ先の皆様に感謝申し上げますとともに、支部長研修の機会を与えていただいたJAの皆さんに感謝いたします。ありがとうございました。



JAきたそらち女性部

さくらカレッジ「モザイクタイル講習会」を開催

11月5日、JAきたそらち女性部さくらカレッジが開催され、26名が参加した。

今回は、旭川市でモザイクタイル作家として活動している中村あきこ氏を講師に迎え、「モザイクタイル講習会」を行った。

講習会では、モザイクタイルを作ったことがない方が多かつたため、初心者でも簡単に作れる鍋敷きを作製した。タイルを並べてデザインが決まったらボンドで固定し、セメント材を流し入れ、ヘラで平らにしていくながら丸や四角など様々な形のタイルがたくさんあるため位置を決めたり自分好みのデザインにすることに悩みながらも参加者は楽しそうに体験をしていた。

モザイクタイルは100円均一でも購入し作ることができるため、参加した受講生からは、「自分で材料を集めて作りたい」「タイルがいろいろな形や色があつてかわいくできた」「鍋敷きの他にも作ってみたい」などの声がありとても好評であつた。

【宮農企画課 佐藤】





女性部 だより

空知管内JA女性部研修大会。

家の光大会を開催

11月27日、令和3年度空知管内JA女性部研修大会・家の光大会が開催され、当JA女性部員29名が参加した。

今年は新型コロナウイルス感染症予防対策として当JAはWebにて営農センター会議室から参加した。

初めに家の光記事活用体験発表では、「私とハンドメイド」と題し、JAいわみざわ女性部 松林さなえ氏より発表があり、昔から手芸が好きだったことから我が子への洋服作りを行っていたことや、女性部へ加入してから仲間誘われて入った手芸グループの活動や家の光の手芸コーナーを楽しみにしていること、イベントで販売した時のお客様との交流などについて話された。

その後、株式会社ヘヴンワールド代表取締役 舩田 光洋氏による「捨てれば捨てるほど豊かになるー開運掃除力」と題し、講演が行われた。掃除力とはなにか、なぜ人は捨てたくても捨てられないのかなど掃除のメリットや掃除による心の改善について学ぶことができた。講演後の質問では、「過去のアルバムはどのように整理すると良いですか」「洋服を片付けるにはどのように整理整頓すべきですか」など参加者は日頃の掃除への悩みを真剣に聞いていた。

【営農企画課 佐藤】



女性部幌加内支部

「交通安全講習会」・「ガラスペーパーウェイト講習会」

JAきたそらち女性部幌加内支部（花岡美智子支部長、部員38名）の14名は、11月12日、幌加内駐在所所長 上野英樹氏を招き「冬の交通安全講習会」を行った。

講習会では、「年々交通事故は減っているものの、近年の冬は吹雪も多くホワイトアウトやブラックアイスバーンになることも多いので気を付けて運転をしていただきたい」などお話をいただいた。

11月13日から11月22日の10日間「冬の交通安全運動」が行われることもあり部員からは「いい時に講習会へ参加できて良かった」という声が上がった。

また、交通安全講習会終了後、副支部長の吉成洋子さんを講師に迎え「ガラスペーパーウェイト講習会」を開催し、それぞれ好きな生地を迷いながら選び、ボードでガラスに張り付ける作業を行った。久しぶりに行われた講習会ということもあり部員は楽しくお話をしながら、可愛いガラスペーパーウェイト作りを楽しんだ。

【幌加内支所 岩本】





女性部 だより

女性部 幌加内支部

手形アート講習会を開催

JAきたそらち女性部幌加内支部（花岡美智子支部長、部員38名）4名は、昨年同様、11月18日、旭川の手形アート教室Peuapeu講師の長谷部亜由美氏を招き、手形アート講習会を開催した。

今回は部員のママ友にも参加いただき、生後3か月から3歳の子供たちの可愛い手形・足形を台紙にペタンと押しサントや雪だるま、クリスマスツリーなどをモチーフに手形アートを制作した。

部員からは子供の成長を残すために毎年参加したいという声も上がり、毎年開催も検討している。当日は、元気な子供たちに癒され楽しいひとときを過ごした。

【幌加内支所 岩本】



金融 共済部

金融共済イチャン本所オープン

12月6日、金融共済イチャン本所がオープンし、新金融共済店舗での営業を開始した。新たな金融共済イチャン本所は、ホクレンショップの東側を金融共済店舗に改修し店舗入り口にはATMが設置され利用者の利便性向上を図った。

当日は開店前にセレモニーが行われ、柏木組合長をはじめとした常勤役員や当JA金融共済部職員が参加した。また、JA北海道信連岩見沢支所高野三千代支所長、JA共済連北海道岩見沢支所赤岡正樹支所長にも参加頂き、柏木組合長と岩田専務に記念品が手渡された。

金融共済イチャン本所オープンにあたり柏木組合長は「金融共済本所として組合員が少しでも利用しやすいような金融共済店舗を職員同士の連携を密にとり心がけて頂きたい」と挨拶した。

また、12月6日当日に取引をした方には、ふかがわまい2合または箱ティッシュが贈られた。



JA職員 農作業実習報告 第2回

先月号に引き続き、若年職員（採用2年目）を対象としたJA非常勤役員宅における農作業実習につきまして、各実習生の感想や今後の抱負をご報告させていただきます。

①実習先	②実習期間	③作業内容	④感想
金融共済部 融資課 戸嶋 凌太 (令和2年4月入組)			
①深川支所音江地区 寶利 靖必 理事宅		②令和3年5月19日～5月25日	
③田植え作業(苗箱積み、苗箱洗い、苗箱整理)			
④私自身、農作業を経験するのが初めてで、実習は力仕事が多く普段は事務仕事をしている私にとっては、苗箱を剥がし軽トラックに載せる単純な作業だけでも大変苦労しました。特に天気の良い日はハウス内が暑く立っているだけでも汗が出るほどでした。従業員との交流の中では農業についての姿勢や思い、農機具に関する知識など色々な話を聞くことができ大変勉強になり、プライベートな話もさせていただきとても楽しかったです。 作業中は田植機が壊れたり、天候の急変により作業の遅れや中断等にも見舞われ、自然を相手にしている農業の難しさを感じました。今回の実習を通して組合員の日々の仕事を知ることができ、改めて役にたてる職員になりたいと思いました。寶利理事や従業員の方々には良くしていただき、5日間と短い期間でしたがありがとうございました。			
			
青果部 青果課 藤川 憂也 (令和2年4月入組)			
①深川支所一已地区 松田 直人 地区代表理事宅		②令和3年5月21日～5月25日	
③田植え作業、牛舎給餌・清掃作業			
④田植え作業については多少の経験はありましたが、苗箱の交換作業や肥料・水を入れるタイミングが分からず、最初のうちはとても苦労しました。また、何十枚にも重なった苗箱を落とさずに運ぶことが難しかったです。基盤整備により1日かけても植え終わらないほどの広いほ場があり大変驚きました。 牛舎での作業は、生後1ヶ月の牛でもかなり大きく感じ大人と同じくらいの体重があることや、成長過程によって与えるエサの違いがあるなど多くのことを学びました。普段は目にするの少ない牛を間近で見て、特に出荷目の前の牛のあまりの大きさに驚きました。 今回の実習では初めは緊張しましたが、従業員の方々とコミュニケーションを取っていくうちに緊張がほぐれ、その後は楽しく作業することができました。今後の業務においても、実習の経験を忘れずに頑張っていきます。ありがとうございました。			
			

農業振興部 営農企画課からのお知らせ

無料経営相談会 令和4年開催日程について

令和4年の税理士法人 中央総合会計（代表社員 井内敏樹氏）による無料経営相談会を下記日程において開催いたします。法人化に向けた相談、経営継承、相続相談、会計業務のお悩みや公的諸融資制度等についての最適なアドバイスなど幅広く経営について相談を受けることができます。

尚、水稲繁忙期（4～6月、9～10月）を除いて開催させていただきますのでご了承ください。

お申込みの方は相談を円滑に進めるため必要書類の事前提出をお願いしておりますので下記期日までに営農企画課 墓田へご提出願います。

1 開催日程

- 令和4年 1月21日(金) 〈令和3年12月24日(金)〉
- " 2月18日(金) 〈令和4年 2月 4日(金)〉
- " 3月25日(金) 〈 " 3月11日(金)〉
- " 7月22日(金) 〈 " 7月 8日(金)〉
- " 8月19日(金) 〈 " 8月 5日(金)〉
- " 11月18日(金) 〈 " 11月 4日(金)〉
- " 12月16日(金) 〈 " 12月 2日(金)〉

※〈 〉内は書類提出期限（開催日2週間前）



2 開催場所

JAきたそらち営農センター 小会議室

3 対応件数

各日5件まで ※1件1時間程度

4 相談内容

- ①法人化（既存法人、新設法人） ②経営継承 ③相続
- ④経営アドバイス

5 事前提出書類

- ①法人化：損益計算書、貸借対照表、減価償却台帳、確定申告B表、借入金償還表、固定資産税課税明細書 各2年分
- ②経営継承：上記①同様の書類 前年度分
- ③相続・贈与：家族構成、財産状況が確認できる書類
- ④経営アドバイス：上記①同様の書類 前年度分

6 相談料

無 料 ※ただし税務申告書の作成及び顧問契約等については個人負担

7 留意事項

- ・お申込み多数の場合は翌月に変更していただく場合がございます
- ・相談時間帯はJAにて調整し、改めてお越しいただく時間を通知させていただきます

知っておきたい得する経営情報

第7回

一年の営農は 計画にあり

1 営農計画 会計帳簿を 役立てて

今年も営農計画書作成のシーズンとなりました。よく、「PDCA」という言葉を聞かれると思いますが、Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)Action(改善)の頭文字をとっています。計画は、まさに営農計画に当たります。

農業の場合も、このPDCAを毎年繰り返し、経営の改善を行います。

計画を営農計画とすると、作物や果樹を栽培、家畜飼育する作業が実行で、評価は何に当たるでしょうか。

評価は、実行した結果の状況を把握・分析します。この評価をするため

にまず必要なことは、経営結果を計数的に正確に把握することです。

クミカンを含めた帳簿等を整理し集計して見ましょう。

次に経営結果を

一年の

①経営全体を見る

例えば黒字だったのか赤字だったのか

②借入金が増減

③機械や農地などの資産の増減

年次比較して

①収入・支出の増減

作目ごとや支出項目

(農薬費や修繕費といった各具体的項目)をチェック

②その要因を考える

・作付け作目構成は？品種は？作型は？

・肥料は？農薬は？飼料

は？適切だったか。

評価の方法は、あくまで例ですが、評価を踏まえて、今年の営農計画を考えましょう。

帳簿等の会計処理は、

税対策だけのものではありません。有効に活用したいものです。

営農は計画あつての実践

貸借対照表
損益計算書

決算書
(会計)

営農
計画書

- ・作付計画
- ・販売計画
- ・費用計画
- ・資産購入計画
- ・資金計画

営 農

クミカン

クミカン報告票 (取引明細)

営農管理報告票

2 労災保険 見直しは 3月末までに

労災保険は、労働者の

災害補償を目的に、労働者を1日でも、1人でも雇う場合は、法人・個人経営を問わず原則強制的に加入しなければなりません（個人経営では、例外あり）。

けれども、個人経営の経営者やその同居家族、と法人経営者等事業主は、労働基準法の「労働者」にならないため、労災保険では『特別加入』となります。特別加入のタイプの変更や新規加入、給付基礎日額の変更は、3月末日が締め切りです。

労災保険は、死亡時の補償金額が一般の生命保険よりも少額に思えますが、遺族に対する年金の

給付や、障害補償の年金給付は手厚くなっています。万が一に備え、是非労災保険の加入を検討ください

特別加入のタイプと 掛金

（1）タイプ

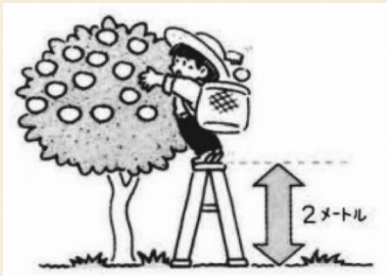
タイプは①と②があり、選択して加入します。

① 特定作業従事者（抜粋）

ア 動力により駆動する

機械を使用する作業

イ 高さ2m以上の箇所での作業



ウ サイロ等酸素欠乏危険場所での作業

エ 農薬の散布

オ 牛、馬、豚に接触、また接触の恐れのある作業



のいずれかの作業に従事する農業者が加入。

② 中小事業主等（抜粋）

常時300人以下の労働者を使用するまたは、1年間に100日以上労働者を雇用することが見込まれる農業で、事業主及びその家族従事者が

加入。

（2）掛金

①のタイプは、給付基礎日額（事故があった時に給付される基礎の日額）を3,500～20,000円の16段階から農作業従事状況に応じて、各自が選択し申請します。

給付基礎日額×365日
×0.009

②のタイプは、年間賃金（時間外、各種手当、賞与含む）×0.013（保険料率）を全額事業主が負担します。

3 青色専従者 給与に関する届出

青色専従者給与額を必要経費算入しようとする場合の手続きです。算入しようとする年の3月15

日までに提出してください。

1月16日以降に開業した人や、新たに専従者がいる事となった場合は、その日から2か月以内に、給与額の変更は変更後遅滞なく、管轄税務署まで届出てください。

農閑期は、我が家の経営を考える絶好機。ぜひ家族で話し合いの場を！



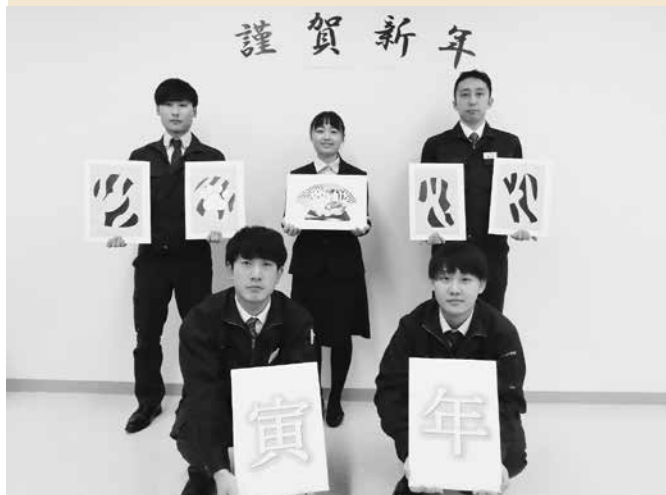
税理士法人
中央総合会計

「安心」が、私たちの商品です。

<http://www.csk-i.com>

今月号の表紙

～本年も宜しくお願い致します!～

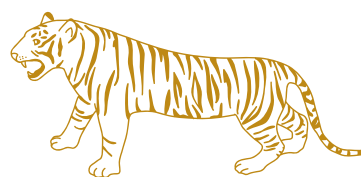


【後列左から】

石野 泰誠 農業振興部 営農企画課
小野寺 萌香 経済部 資材課
鈴木 友也 販売部 米穀課

【前列左から】

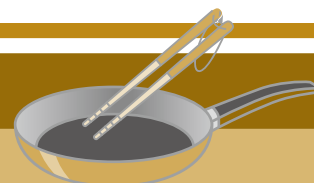
長内 大貴 経済部 北竜資材課
阿部 龍弥 経済部 北竜資材課



今年の干支にちなみ、寅年の昭和61年・平成10年生まれの職員5名に出演いただきました。
撮影へのご協力、ありがとうございました!

お料理コーナー

◆鶏肉だんごのとろろ鍋



◎材料 (4人分)

鶏ひき肉 300g
ミズナ 1把 (200g)
長ネギ 1本 (120g)
マイタケ 2パック (200g)
ナガイモ (すりおろしたもの) 400g
A { ショウガ (みじん切り) 1かけ分 (10g)
 麴 (細かく砕く) 20g
 かたくり粉 大さじ2
 しょうゆ 大さじ1/2
だし汁、酒、しょうゆ、みりん、塩



◎作り方

- ①ひき肉とAをよくこねて、12等分にして丸める。
- ②ミズナは根元を切り取り7cm長さ、長ネギは斜め薄切り、マイタケは食べやすい大きさに割く。
- ③鍋にだし汁6カップ、酒1/2カップ、しょうゆ・みりん各大さじ2と塩小さじ1を入れて沸騰させて一度火を止める。
- ④③に①とマイタケを加えて、あくを取りながら再度沸騰させる。
- ⑤④にミズナと長ネギ、ナガイモを加えてひと煮たちさせる。

●メモ 麴を入れることで、だし汁がしみ、そのうまみを存分に口の中で楽しめます。

『家の光』2021年1月号「家の光料理カード」から 調理：上島 亜紀



大腸がんは、がんの中でも罹患患者数第1位、死亡者数第2位と、高い割合を占めています。しかし、初期のがんであれば内視鏡手術や外科手術で切除できる可能性が高く、早期発見が重要とされています。大腸がんの検査は内視鏡検査が一般的ですが、平坦な病変や微小な病変は発見が難しく、発見率を向上させることが課題となっています。また、切除する必要性が比較的低いとされる非腫瘍性の病変の切除件数を減らすことは医療費削減につながるため、内視鏡検査による正確な大腸ポリープ診断が求められます。

現在、画像処理技術とAI技術を活用し、炎症の診断や微小な病変の発見をサポートするシステムが実用化されています。通常の大腸内視鏡観察時にポリープなどの病変が疑われる箇所をリアルタイムに自動的に検出し対象エリア枠で囲って表示点滅と同時にアラームで知らせてくれる病変自動検出機能。病変が切除必要なものかどうかを内視鏡画面の枠の色を変えることで知らせ、さらに画面上のどの範囲が腫瘍なのかマッピングしてくれる疾患間別支援機能を備えており、当院でも昨年より導入されており以前より短時間でより正確な診断・治療が可能となりました。

検査システムの進歩により、以前に比べ大腸内

視鏡検査は痛みも少なく多くの場合5から10分以内に終わる患者負担の少ない検査となっています。腹部症状があったり、検診で便潜血反応陽性となった方は早めに医療機関に相談しましょう。



合格おめでとうございます

資格認定試験に次の職員が合格いたしました。

【北海道農協職員資格認定試験】

特 級

梅村 大輔（金融共済音江支所金融共済課）

上 級

一戸 栄治（担い手支援室）

辻 聖也（販売部農産課）

古川 和也（総務部総務経理課）

平山 幸子（経済部北竜資材課）

佐野 雄平（農業振興部振興課）

打譯 將樹（経済部音江給油所）

森島 直樹（農業振興部振興課）

中 級

田中 里枝（深川支所営農課）

阿部 龍弥（経済部北竜資材課）

稲田 集哉（青果部青果課）

山田 睦未（金融共済多度志支所金融共済課）

小石川 正（総務部総務経理課）

初 級

田中 大暉（経済部音江給油所）

田口 克海（経済部幌加内給油所）

小野寺萌香（経済部資材課）

吉田 智哉（経済部イチヤン給油所）

三村 佳久（深川支所深川米穀施設課）

千石 倅輔（金融共済部渉外課）

小島梨里花（総合企画室企画広報課）

吉田修二郎（深川支所深川米穀施設課）

金融共済部 共済課からのお知らせ



一生涯にわたって“万一”のときに備える

終身共済

積立型プラン

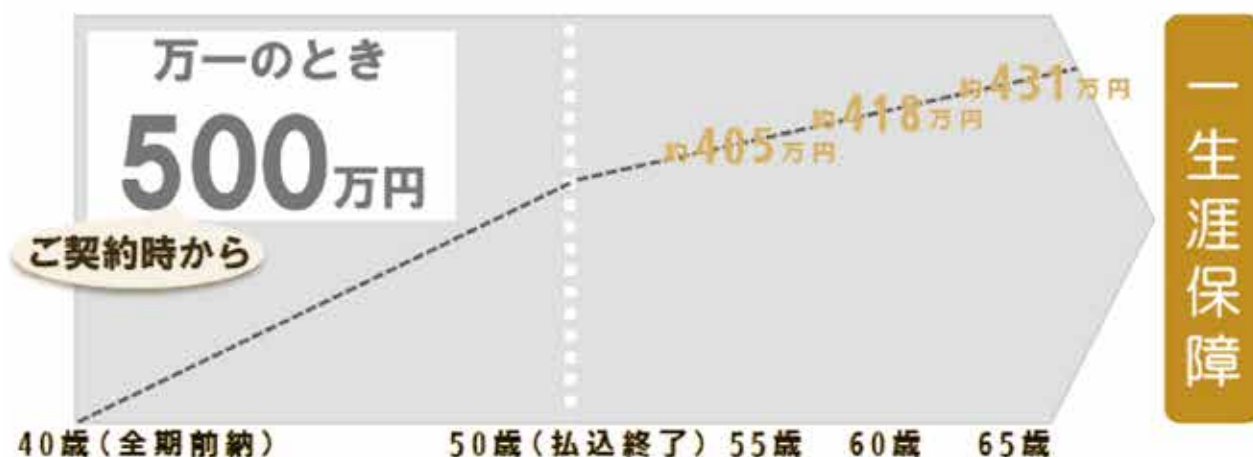
令和3年4月現在

【ご契約例】

- 40歳加入(女性)
- 50歳払込終了
- 共済金額 500万円
- 全期前納
- 口座振替扱い

《全期前納タイプ》

全期前納共済掛金 **3,966,065 円**



※図中の数値は共済掛金積立金を指します。共済掛金積立金とは将来の共済金の支払いのために、共済掛金の中から積み立てた積立金をいいます。
※図中の数値は万円未満を四捨五入して表示しています。

共済掛金が
掛け捨てにならない積立型の万一保障
プランです

注意事項および用語の説明

- 途中でご解約された場合、保障はなくなります。また、返れい金をお支払いいただいた共済掛金の総額を下回ることがありますので予めご了承ください。
- “万一”のときとは、死亡・所定の第1級後遺障害の状態・所定の高度要介護状態のいずれかに該当する場合のことです。
- 割り戻し金とは、ご契約3年目から発生し、ご契約中いつでもお引出しが可能です。ただし、経済情勢などによっては割り戻し金が発生しない年度もあります。

お問い合わせは…



本 所 TEL 0164-22-6619
音江支所 TEL 0164-25-1111
深川支所 TEL 0164-22-2171
納内支所 TEL 0164-24-2211

多度志支所 TEL 0164-27-2111
雨 竜 支 所 TEL 0125-77-2331
北 竜 支 所 TEL 0164-34-2280
幌加内支所 TEL 0165-35-2024

※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項 説明書（契約概要・注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

【21010794050】

JAグループ北海道からのお知らせ



北海道コンサドーレ札幌
栗山トレーナーによる

Vol. 6

農作業にも役立つ セルフコンディショニング講座

選手達のコンディショニング、フィジカルトレーニングを担当している栗山渉トレーナーが、誰でも簡単にトライできる、セルフコンディショニングの方法をご紹介します！スポーツをしている人も、していない人もチャレンジしてみましょう！

北海道コンサドーレ札幌と
JAグループ北海道は
食農パートナーです！



今日のテーマ

正月太り解消 全身トレーニング

効率的に体脂肪を削るトレーニングとしてHIT（ハイ・インテンシティ・インターバル・トレーニング）を紹介します。短い運動時間で体脂肪を削りつつ、全身の筋肉を増やせるメニューです。

20秒間全力で運動し、10秒休む、これを8回繰り返します。4種目を2周します。

運動後、しばらくの間は何もしてなくても平常時よりも脂肪燃焼が高まる効果があります。軽く息が上がる程度の運動ではこの効果は生じないので、全力、フルスピードで運動を繰り返すことがポイントです。

秒数のカウントはスマホのアプリを利用すると便利です。アプリストアで「TABATA タイマー」と検索すると沢山ヒットします。毎日取り組んでみましょう！

※ エクササイズをすることで身体に痛みが生じる場合はすぐに中止して下さい。強い痛みが継続する場合は整形外科を受診することをお勧めします。

1 クイックスラスター 20 秒



膝・つま先は
まっすぐ前に
向ける

1 足は腰幅より
やや広げ、
素早く深く
しゃがみ、
肘を曲げて
手を顔の横

2 素早く立ち上がると同時に
両手を突き上げる
3 できるだけ速くしゃがみ、
立ち上がる動作を繰り返す

2 マウンテンクライマー 20 秒



1 両手を肩幅につい
て、太ももを胸に
近づける

腰を反らな
いよう、お尻の
高さをキープ

2 手をついたまま
全力でダッシュす
るように太ももを
交互に上げる

4 クイックプッシュアップ 20 秒



体幹と太ももは
一直線にキープ

1 両手は肩幅よりやや
広く、膝をつく



2 素早く胸をすれす
れまで下げたら、
全力でプッシュし
て①の姿勢へ

3 クイックヒップスラスト 20 秒



お尻と太もも
の裏の筋肉を
意識

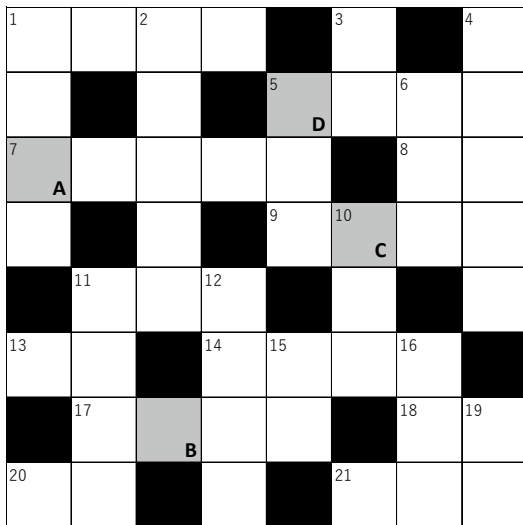
1 両手を腰幅よりやや
広くし、膝 90 度、
両手をついて少しお
尻を上げる



2 両足で踏んばって
素早く腰を持ち上
げたら、すぐに 1
の姿勢へ

クロスワードクイズ

提供元:クロスワード.jp



A	B	C	D
---	---	---	---

11月号の正解は

「マフラー」でした。

正解者の中から抽選で3名が選ばれました。

深川市 太田 とき 様
深川市 藤川 昌子 様
深川市 宮田 美加 様

【タテのカギ】

- 連れ添って行くこと。「保護者○○○○」
- 秋に花が再び咲くこと。一度地位を失った人が再び元の状態に戻ることに。
- 野球で走者が得点するために通過しなくてはならない地点。ベース
- 建物や土地の高低・方向・距離などを測ること。
- 物を鑑定する能力がある人
- 動作や儀式をする上での決まった正しいやり方。「礼儀○○○」
- 太陽が沈んで、辺りが暗くなるうとするころ。日暮れ
- 今。ただ今。
- 固く信じること。「勝利を○○○○する」
- 初夏の長雨。またはそのはじめした季節
- 品物の上にはる、はり紙。
- 動物の骨を包んでいる柔らかな物質

【ヨコのカギ】

- 直角より大きく180°より小さい角
- すぐれた作品。有名な作品。「隠れた○○○○」
- 急いで続けざまに文字を書き記すこと。「○○○○○のメモ」
- 地面を長くほって、水が通るようにしたところ。
- 雇い主から仕事の報酬として働いた人に支払われるお金
- 前よりもはげしくなること。
- 牛や豚の舌の肉
- 靴をはくとき足を入れやすくするためのへら
- 異なった種類の雌雄の間に生まれた個体
- 鮮やかな赤色
- 石灰質のからを持つ軟体生物の総称
- 軽く柔らかくて、瓶の栓などに使われる木の皮

応募方法

正解者の中から抽選で3名様に農協全国商品券をプレゼント。ホームページ応募フォーム・ハガキ・FAXで①クイズの答え②住所、氏名、年齢③身近な出来事④農協だよりに対するご意見ご要望を記入の上ご応募下さい。

締切1月30日消印有効で当選者とクイズの答えは令和4年3月号に掲載します。

【送り先】〒074-0022 深川市北光町1丁目10番10号

JAきたそらち総合企画室企画広報課

FAXの場合は 0164-22-8611

【ホームページ応募フォーム】URL: http://www.ja-kitasorachi.com/application_form/

※ご本人以外による応募は抽選の対象外とさせていただきます。

十二月俳句

● 雨電俳句会

冬の虹のぼりて貨車の軋みゆく
とり残す粟に初雪あかりかな
ほろ酔いで北窓見れば雪催い
柿野菜みやげにもたす母娘へに
空席を静かに埋めて冬の蝶
古糸を集めてセーター幾何模様

● 「道」俳句会 北電支部

生粋の農婦の句集福寿草
初雪やふわり田の神御幣ふる
雪の田へ刺子のようなけもの跡
農民の一喜一憂師走かな
初氷石焼芋を二つ買う
熊眠る五十七頭牛食らい
背なの荷を背負い直して年の暮
行く年や寂聴講話道しるべ

● 土筆俳句会

風紋は北の技なる冬の宴
炭斗の洋室にある仮置き場
愛全開冬至南瓜を甘く煮る
一日の終わりに気付く冬至かな
競い合う我が手が雪か庭仕舞い
さくさくと白菜漬けの朝餉かな
霜月や歳を重ねて古稀近し
手袋や残されたまま海渡る
新婚のハート人参握り飯

高尾美津子
池田 美知
山川 輝子
南川富美子
佐藤英三子
滝口富美子
菅原 優子
森田裕美子
小橋 厚子

佐藤美智子
宮脇美和子
中島 雅子
山下 好晴
吉尾 広子
阿部れい子
山岸 正俊
山本 玲子

大林アヤ子
北川 満江
小山 邦男
松本 五月
宮武めぐみ
吉見サヨ子

第12回理事会〈令和3年11月30日開催〉以下の事項について決議・承認されました

1. 関係団体等諸会議について
2. 内部監査報告について
3. 組合員の加入脱退について
4. 10月末推定決算について
5. 財務報告及び事業実績について
6. 反社会的勢力等との取引状況について
7. マネーローダリング等の取引状況について
8. コンプライアンス事故報告について
9. 令和3年度第3四半期 内部統制及びリスク管理の取組状況について
10. 営農懇談会の日程について
11. 固定資産の取得について
12. 職員の人事及び業務事故について
13. 役職員新年交礼会について
14. 貸出金の貸付報告について

議案第1号 みのり監査法人 期中監査Ⅱ結果概要報告について

議案第2号 役員選任事務手続実施日程について

議案第3号 組合員の出資金持分譲渡について

議案第4号 コンプライアンス規程の変更について

議案第5号 コンプライアンス・マニュアルの変更について

議案第6号 職員の年末手当の支給について

1. 令和4年度 水稻作付け基本方針について
2. 令和4年度 営農計画書について
3. 令和4年度 営農計画書 米穀関係単価について

15. 令和3年度 賦課金徴収実績と要資格変更組合員について
16. 水田活用の直接支払交付金、交付対象水田の取り扱いについて
17. 令和3年産 米集荷状況について
18. うるち米情勢、もち米情勢について
19. 過年産米精算見込と令和3年産特定米穀精算見込について
20. 畑作物集荷状況について
21. 令和3年産そば（一般品）追加精算
22. 畜産物の販売実績について
23. 青果・花き集荷販売実績について
24. 令和4年花き利用料金改定について
25. 営農灯油特別対策について
26. 経済部事業実績について

議案第7号 貸出金の貸付について

議案第8号 クミカン極度額の変更について

議案第9号 令和3年度 クミカン精算に係る農協仮渡金の対応について

議案第10号 令和3年産米 概算金の追加払いについて

議案第11号 令和3年産 大豆概算金について

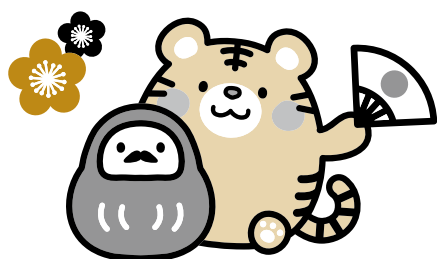
議案第12号 令和3年産 種子馬鈴しょ概算金の追加支払いについて

4. 令和4年度 営農計画書 畑作物関係単価について

組合員の動き

(令和3年11月末日)

		当期首	加入	脱退	当月末
正組合員	個人	1,339	14	38	1,315
	団体	91	4	0	95
准組合員	個人	5,703	51	52	5,702
	団体	274	3	0	277
正組合員戸数		959	4	25	938



JAきたそらち太陽光発電所 発電実績

○令和3年11月実績

○累計（R2.12～R3.11）

発電電力 **25,102kWh**

発電電力 **556,104kWh**

計画対比 + 8,166kWh

計画対比 + 137,414kWh

前年対比 + 5,372kWh

前年対比 + 13,625kWh

経済部 資材課からのお知らせ

今年も開催!!

作業衣類展示会



2022 2/2日(水) 3日(木)
午前10時～午後3時

JAきたそらち

営農センター 資材店舗

※店舗入口よりお入りください



※写真は昨年開催の様子になります。

毎年恒例の作業衣類展示会を今年も開催します!

普段店頭には並ばない防寒長靴やヤッケ、手袋類を

期間限定の展示会価格として格安で提供致します!

たいやきCOCO



完売次第終了!!

つぶあん...110円
クリーム...110円
チョコ...110円
ハムチーズ...150円

たいやきCOCO
ふれあいの家

(正午～13時)

～新型コロナウイルス感染拡大防止へのご協力のお願い～

- ◇マスクをご着用の上、お越しください。
- ◇ご来店時はアルコール消毒液による手指の消毒をお願い致します。
- ◇体調のすぐれない方はご来店をお控えください。

※なお、感染拡大の状況により、展示会を中止とさせていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

作業衣類展示会のお問い合わせは、経済部資材課まで

☎: 0164-26-0124

